

# 「次期可燃ごみ処理施設」(仮称) 建設事業の実施状況をお知らせします。

市は、出雲エネルギーセンターに替わる「次期可燃ごみ処理施設」の整備を令和4年4月の本稼働に向けて進めています。  
現在の進捗状況と今後の整備スケジュールをお知らせします。



【施設完成イメージ(CG)】



【建設地位置図】



【施設建設工事現場】

## 次期可燃ごみ処理施設概要

処理能力	200t/日 (100t/24h×2 炉)
階 層	地上4階、地下1階
建物の高さ	工場棟高さ約33m、 煙突59m
建築面積	約6,032㎡
延床面積	約9,542㎡
事業用地面積	約3.9ha (※災害廃棄物 ストックヤード併設)
燃焼設備	ストーカ式焼却炉
発電設備	蒸気タービンによる 発電(5,400kW)

## 進捗状況

### ◆施設建設工事

昨年から着手している建設工事は、ごみを溜めるごみピット部分の掘削・基礎工事を終え、建屋を立ち上げています。建屋の建設と並行して機械・電気設備工事、ごみ焼却炉や蒸気タービン発電機等のプラント機器の据え付けを行っています。

### ◆アクセス道路工事など

採石事業で使用されていた約2kmの市道を6つの工区に分け、複数の区間を同時並行で道路工事を行っています。改良工事が終わった区間から、水道管布設工事、送電線工事を行い、最後に舗装工事を行います。1工区はすでに供用開始しており、3、4工区は今年度末までに舗装工事を完了する予定です。残る区間も改良工事を進めており、来年度秋頃の全線開通をめざします。



【アクセス道路全体図】



【現場見学会の様子】

工事現場の担当者が同行し、安全な場所から見学しました。

### ◆工事現場の見学会を行いました。

工事現場の休日を利用して、地元古志町の皆さまを対象に見学会を行いました。質問を交えて熱心に見学されました。

## 今後の整備スケジュール

来年度10月頃には、大半の工事を完了し、11月から実際にごみを搬入して焼却する試運転を行い、令和4年4月の本稼働をめざします。来年度は市民の皆さまに、ごみの搬入方法や、分別方法についても、決定次第お知らせします。本事業の情報は随時、市ホームページに掲載していきますので左記の検索方法を参考にご覧ください。



【アクセス道路工事(2工区)の様子】

おたずね／環境施設課  
電話 0856-8886



出雲市のホームページからは「次期施設 状況」で検索



スマホからはQRコード読取

# 出雲市の下水道 ～自然とくらしにやさしい下水道～

下水道は、トイレの水洗化など快適な生活環境の確保や、生活污水を流さないことによる湖・河川など公共用水域の水質保全等を目的にしています。

出雲市の下水道事業は、下水道事業会計と浄化槽設置事業特別会計の2会計で事業運営を行っています。

今回は、令和元年度末の汚水処理施設の普及状況、下水道事業の決算状況についてご紹介します。

## 汚水処理施設の普及状況

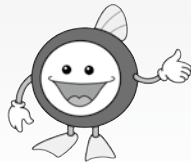
市内に住んでいる人のうち、個人で合併処理浄化槽を設置された方を含めて、154,182人の方が汚水を処理できる状態で暮らしています。

これを表した数値を普及率といいます。

令和元年度末における普及率は88.2%です。

地域	行政区域内人口	供用人口	普及率
出雲	94,348人	77,994人	82.7%
平田	24,688人	22,957人	93.0%
佐田	3,181人	3,003人	94.4%
多伎	3,339人	3,276人	98.1%
湖陵	5,202人	4,711人	90.6%
大社	14,495人	13,082人	90.3%
斐川	29,537人	29,159人	98.7%
計	174,790人	154,182人	88.2%

## 下水道事業の決算状況

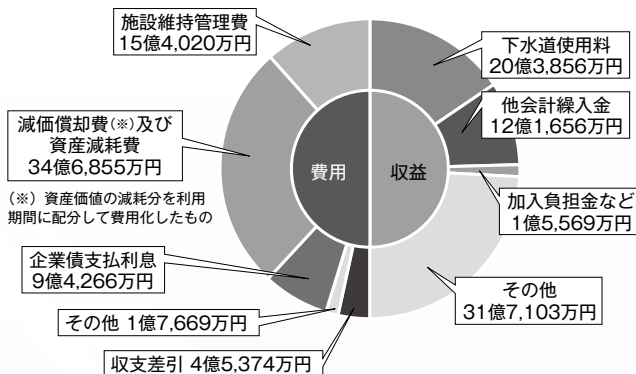


### ★下水道事業会計

#### 収益的収支(税抜)

生活污水を処理するための経費と財源

収 益	65億8,184万円
費 用	61億2,810万円
純利益	4億5,374万円



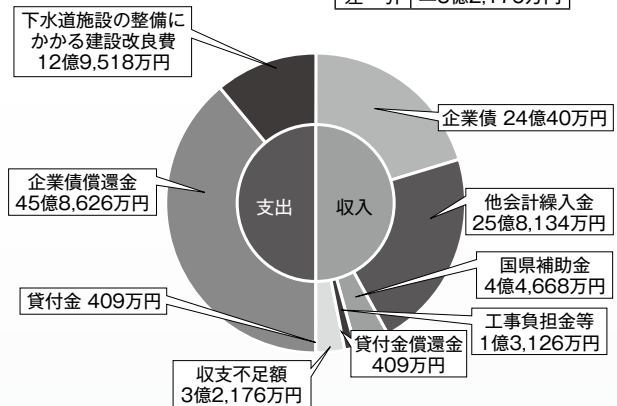
#### 概要

使用料収入は、継続して整備を行っている公共下水道事業が、供用開始区域の拡大に伴い増加しました。その他の事業においては、地域の人口減少等の影響もあり、横ばい若しくは減少となりました。純利益は4億5,374万円でした。

#### 資本的収支(税込)

施設整備のための経費と財源

収 入	55億6,377万円
支 出	58億8,553万円
差 引	△3億2,176万円



#### 概要

公共下水道事業における未普及地域の解消に向けた取組のほか、老朽化した既存施設の更新を行いました。国県補助金や一般会計からの繰入金、企業債を財源として運営していますが、不足が生じた、3億2,176万円は、損益勘定留保資金などで補填しました。

※下水道事業会計は、令和元年度から公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業・漁業集落排水事業、小規模集合排水事業を一つの公営企業として事業運営しています。

### ★浄化槽設置事業特別会計

歳入	使用料	一般会計繰入金	諸収入
1億3,890万円	5,813万円	7,845万円	232万円
歳出	維持管理費	公債費	建設費
1億3,890万円	9,779万円	3,948万円	163万円

— おたずね —

経営企画課 ☎21-3513  
下水道管理課 ☎21-2226